

地域医療支援病院業務報告書

1. 概要

病院名	フリガナ	シャカイイリョウハウジン サンエイカイ ツカザキビョウイン
		社会医療法人 三栄会 ツカザキ病院
所在地		兵庫県姫路市網干区和久68番1
開設者		理事長 塚崎 秀樹
代表者氏名		院長 夫 由彦
承認年月日		2023年8月17日

2. 業務報告

対象期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
------	--------------------------------

◇紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上	
紹介率	A/B	75.0%
※患者数は延べ人数	A：紹介患者の数	12,017人
	B：初診患者の数	16,005人
逆紹介率	C/B	90.1%
※患者数は延べ人数	C：逆紹介患者の数	14,432人

◇共同利用の実績

医療機関延べ数 (うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数)	0機関 (0機関)
共同利用病床数	5床
共同利用病床利用率	0.0%
共同利用の範囲	当該病院の施設・設備の一部
共同利用施設・設備	・開放型病床：5床 ・地域医療連携室（面談室） ・図書室 ・会議室 ・CT、MRI、内視鏡、一般撮影、マンモグラフィ - その他 管理責任者が認めた医療機器・施設・設備
登録医療機関数	402機関
共同利用に関する規定の有無	有

◇救急医療の提供の実績

優先的に使用できる病床	6床
専用病床	12床

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者	6,026人	(2,893人)
上記以外の救急患者	4,652人	(1,885人)
合計	10,678人	(4,778人)

※延べ人数。括弧内は、うち入院を要した患者数

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

◇地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	・2023年5月25日 2023年度 第1回感染対策向上加算連携カンファレンス ・2023年5月27日 第6回 薬業連携カンファレンス in ツカザキ ・2023年8月2日 2023年度 1CLSツカザキコース ・2023年8月24日 2023年度 第2回感染対策向上加算連携カンファレンス ・2023年9月5日 ツカザキ病院・姫路市消防局 救急症例検討会 ・2023年9月15日 ツカザキ病院・西はりま消防組合 合同症例検討会 ・2023年9月22日 AI医療応用の基本と最新技術～新しい時代に入った人工知能を分かりやすく解説～ ・2023年10月26日 地域医療連携セミナー ここまで進んだ低侵襲治療～低侵襲治療の流れーAIMIT設立～ ・2023年11月10日 白内障手術技術評価 ～実際の手術動画を見ながらの解説～ ・2023年11月30日 2023年度 第3回感染対策向上加算連携カンファレンス ・2023年11月30日 2023年度 外来感染対策向上加算連携カンファレンス ・2024年1月18日 第4回 ツカザキ病院臨床検査科 研修会 ・2024年2月22日 2023年度 第4回感染対策向上加算連携カンファレンス ・2024年3月7日 第7回 薬業連携カンファレンス in ツカザキ		
研修の実績	地域の医療従事者への研修回数		14回
	合計研修者数（うち院外参加者）	455人	(291人)
研修体制	研修プログラムの有無		有
	研修委員会の設置の有無		有
	研修指導者数		26人
研修施設	西館6階 会議室		437.36㎡ 211.41㎡ 225.95㎡ に分割可能

◇診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者	夫 由彦	
管理担当者	山下 真樹	
診療に関する諸記録の保管場所		電子カルテ及び 電子カルテ ネットワーク内
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供の実績	医事課
	地域医療従事者向け研修の実績	医局支援課
	閲覧実績	地域医療連携室
	紹介患者等の帳簿	地域医療連携室

◇診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	夫 由彦	
閲覧担当者	山下 真樹	
閲覧の求めに応じる場所	本館1階 面談室1及び2	
閲覧者別延べ件数	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件
	合計	0件

◇第九条の十九第一項に規定する委員会の開催の実績

委員会の開催回数	0回
----------	----

◇患者相談の実績

相談を行う場所	患者相談窓口（入退院支援センター）・病棟
主たる相談対応者	社会福祉士（13名）、看護師（11名）
相談件数	19,205件

相談の概要

	○患者相談の概要 ※社会構造の変化により医療の中で患者やその家族の不安感を除去する等、心理的問題の解決が益々求められている。このような状況のもと、病院等の医療提供の場において、患者の抱える経済的、心理的、社会的問題の解決、調整を援助し、社会復帰の促進を図ることを趣旨とする。 1. 社会福祉相談（2,140件） ・経済的問題の関するもの ・福祉制度に関するもの 2. 退院相談（111,202件） ・かかりつけ医選定相談 ・自宅退院（介護保険サービス調整、住宅環境整備） ・リハビリ、療養施設、施設入所 3. 苦情相談（23件） 4. 看護相談（534件） ・退院後のケア等 5. がん相談（8件） ・放射線治療や緩和ケアの紹介 6. その他の医療相談（3,588件） ・セカンドオピニオン ・患者会や家族会の紹介 7. その他（1,710件） ・入院、検査施設案内等 ・書類関係（問診票の書き方等） 本館1階正面玄関入って右手突き当りに患者相談窓口を設置している。患者相談窓口では、専任の相談担当者を配置し、多岐にわたる相談に対応している。また、入院患者に関しては十分な相談を有する社会福祉士、看護師を院内に配置、更に各病棟に医師の直番ソーシャルワーカー（社会福祉士）を配置している。休間内や休日の相談対応に関しては、休間外受付にて専任担当に申し送ることで、翌日に担当専任から連絡をするシステムが構築されている。相談が必要な相談内容に関しては、その発生原因の追及を行い、院内各会館において段階的に今後の対策を検討している。また、院外においては、地域包括センター、保健所など、行政機関等への相談手段が整備され、地域との連携がとれる体制を整えている。相談内容は月ごとに集計し、スラップ内で監視している。 ○相談に基づき講じた対策案 ・相談対応は総合受付で専任看護師が、患者相談窓口において専任・兼任担当者が対応。 ・患者相談窓口と院内医療安全管理者は連携関係にある。 ・相談内容件数は、患者相談窓口での対応件数に加え、病棟での相談件数も含む（病棟との連携）。 ・資料に関しては、その発生原因の究明を行い、今後の対策を検討して再発防止に努める（安全対策委員会との連携に努める。）、 ・各二階内の連携を図り、業務の遂行にあたり、必要に応じて院外関係各機関との連携を図る。
--	---

◇その他地域医療支援病院に求められる取組み

病院機能第三者評価	有
役割に関する情報発信	有
退院調整部門	有
地域連携クリティカルパスの策定	有

社会医療法人 三栄会 ツカザキ病院